

とっとり観光ニュース 2019年 5月号

1 「万葉集むすびの地」への旅を！

新しい元号「令和」が始まります。典拠となった万葉集では、因幡国守であった大伴家持（おおとものやかもち）が、その最後を飾る歌を詠んでいます。

新（あらた）しき 年の始（はじめ）の 初春（はつはる）の
今日（けふ）ふる雪の いや重（し）け吉事（よごと）

鳥取市にある万葉集と古代因幡をテーマにした「鳥取市因幡万葉歴史館」では、「令和」が発表された翌日から解説パネルや関連する歌のパネル、来館者が「令和」への思いを書けるコーナーなどを展示しています。

万葉衣装の貸し出しもありますので、令和のはじめに万葉文化に触れて、家持の詠んだ歌のように良いことが重なる「令和」となるよう祈る旅はいかがでしょう。



因幡万葉歴史館

■所在地 鳥取市国府町屋 726

■料金 一般 300 円（高校生以下・65 歳以上無料）※特別展、企画展中は入館料が変更になる場合あり。

■問合せ 鳥取市因幡万葉歴史館 電話 0857-26-1780 URL <http://www.tbz.or.jp/inaba-manyou/>

<万葉の里 鳥取市国府町の見どころ>

【大伴家持の歌碑】



鳥取市因幡万葉歴史館から徒歩約5分の場所には、先ほど紹介した万葉集 4,516 首の最後を飾る歌の歌碑があり、約3メートルの自然石に彫られています。

この歌は、天平宝字3（759）年の正月1日に、因幡国庁で開いた新年宴会で詠まれました。歌を詠んだ当時の風景に思いを馳せてみませんか。

■所在地 鳥取市国府町庁

鳥取市因幡万葉歴史館から徒歩約5分

【宇倍（うべ）神社】

大化4（648）年創建の因幡一の宮。明治31年完成の現社殿は、翌32年には全国の神社では初めて、御祭神である武内宿禰命（たけのうちのすくねのみこと）の御尊像とともに五円紙幣に載せられ、以後、大正・昭和と数回紙幣の図柄になりました。

お金にご縁があり、商売繁盛の神様として、全国から参詣されます。

■所在地 鳥取市国府町宮下 651

■問合せ 宇倍神社 電話 0857-22-5025 URL <https://www.ubejinja.or.jp/index.php>



2 鳥取西道路 5月12日に全線開通

山陰道・鳥取西道路の鳥取西 IC から青谷 IC の区間が、5月12日に開通します。鳥取西道路の整備により、例えば鳥取 IC から倉吉白壁土蔵群まで、77分かかっていたところが27分短縮され50分で移動できるようになるなど、鳥取県中部地域へのアクセスが向上します。

また、4月27日には、山陰道の東伯・中山道路に「琴の浦インターチェンジ」が追加され、インターチェンジの開通により、琴浦町内へのアクセスが便利になります。

■道路に関する問い合わせ 県庁道路企画課 電話 0857-26-7351

3 この夏、皆生温泉にマリンアスレチックが新登場

【皆生温泉マリンアスレチック 海皆-KAI・KAI-】

皆生温泉海水浴場周辺の海上に7月、巨大アスレチックが登場します。メインアスレチックは、約40m×30mの巨大なもので、「ウォーターライダー」や「巨大トランポリン」、「スプラッシュブランコ」など10以上のアトラクションを楽しめます。

さらに、小さなお子様連れも安心して遊べる「ちびっこアスレチック」や「ぶかぶか遊具」などもあります。

■会場 皆生海岸（米子市皆生温泉4-1961-1）

■期間 7月7日（日）～9月1日（日）

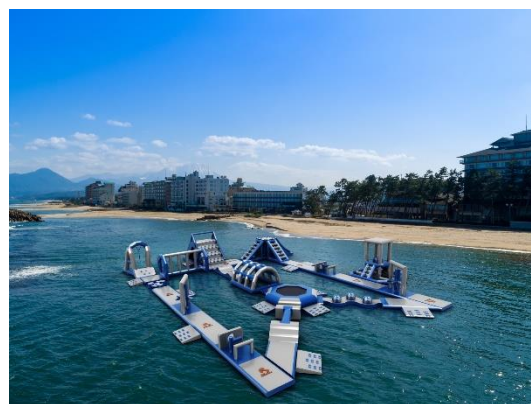
※7月14日（日）は休業

■時間 平日10:00～17:00、土日祝日・盆9:00～17:00 ※15:30最終受付、60分間の交代制

■料金 メインアスレチック 平日1,600円（前売1,400円）、土日祝日1,800円（前売1,600円）、盆（8/10～17）2,000円（前売1,800円）

ちびっこアスレチック 全日300円（前売なし）

■問合せ 皆生温泉マリンアスレチック 海皆-KAI・KAI-実行委員会事務局（（株）メリット内）
電話 080-2916-2260



（設置イメージ）

<皆生温泉 夏の夜を過ごすならこれ！>

【皆生温泉夏休みちびっこ広場】

期間中の毎夜、海水浴場特設会場でちびっこ向けイベントが開催され、毎夜、200～300発のミニ花火が打ち上げられます。

■日時 7月19日（金）～8月25日（日）20:00～21:00

■問合せ 皆生温泉旅館組合 電話 0859-34-2888

【皆生温泉ライトアップー紋様灯籠ー】

【CATCH the STAR 星取県 プラネタリウム in 皆生温泉】

皆生温泉街の「皆生温泉・四条通り」を、大小の紋様灯籠が優しくほのかな灯りで彩ります。また、皆生温泉・観光センターの室内型ドームでプラネタリウムが鑑賞できます。

■期間 7～8月（予定） ■問合せ 皆生温泉旅館組合 電話 0859-34-2888

<米子市内 夏のイベント>

【チームラボ★学ぶ！未来の遊園地】



山陰初となる世界最先端のデジタルアート展が開催されます。色や音、光などデジタルアートに参加しながら楽しめる展示が満載です。

(展示内容)

- お絵かき水族館 ○缶バッヂファクトリー
- まだかみさまが いたるところにいたころの
ものがたり ○光のボールでオーケストラ
- 小人が住まうテーブル ○ケンケンパ

■会場 米子市美術館（米子市中町 12）

■開催期間 7月27日（土）～9月3日（火）※8/7は休館 ■営業時間 10:00～19:00

■問合せ Yonago ヒカリ☆マチ アートプロジェクト実行委員会 電話 0859-29-2854

4 大山の風物詩 お盆の大献灯・大山和傘灯り

かつては火の神岳とも呼ばれ、霊山として崇められてきた大山の参道に、お盆の期間、特別な灯りがとまります。本物の和傘約120本の一本一本に雅やかな明かりがとまり、夜の大山を楽しめます。

【開催期間①】8/10（土）～8/12（月・振替）

有料区間 大山寺山門～神社参道～大山寺本堂（和傘灯り）

無料区間 大山御幸参道本通りにて「絵灯籠」の展示有

【開催期間②】8/13（火）～8/15（木）（無料）

大山御幸参道本通りにて「絵灯籠」及び「和傘」の展示有

■問合せ （一社）大山観光局 電話 0859-52-2502

URL <http://tourismdaisen.com/>

※10/20（日）～10/22（火）にも大山和傘灯りを予定。



大山寺本堂の和傘灯り

5 超小型EV「ジオコムス」鳥取砂丘ステーションがオープン



インスタ映えするポップな見た目で開放的でかわいいEV「ジオコムス」の鳥取砂丘ステーションが5月7日にオープン予定です。（プレオープンは4月13日）

海から吹く風や波の音を感じ、自然と一体となってオーシャンビューが連なる山陰海岸ジオパークの絶景スポット巡りを楽しめます。また、耳を塞がない骨伝導による音声ガイドでナビゲートしてくれるので、初めての方も外国人でも安心して走行できます。（日本語、英語、韓国語、中国語（北京、台湾）に対応）

■所在地 鳥取砂丘ステーション（4/13 プレオープン、4/27～5/6は休業）

（鳥取砂丘パークサービスセンター：鳥取市福部町湯山）

■営業時間 9:00～17:00（最終受付 15:30） ■設置台数 4台

■料金 モデルコース（約3時間）3,000円、フリー利用（1時間）2,000円

■問合せ ジオコムス鳥取砂丘ステーション 電話 080-5612-7549

URL <https://chizu-sekiyu.com/geocoms/>

6 旧国鉄倉吉線廃線跡トレッキングオープンデーに参加しよう

昭和 60 年に廃止となった旧国鉄倉吉線。当時のレールやホーム、トンネルが残っているのは全国的にも珍しく、現在はトレッキングのコースとして活用されています。

トレッキングは通常団体受付のみですが、オープンデーでは個人で参加でき、普段入ることのできないトンネルや、竹林に囲まれたレールの上を歩くことができます。大山や蒜山三座が望める絶景ポイントもあります。

■コース 4.6km（倉吉市役所関金庁舎駐車場→関金駅跡→松河原→泰久寺駅跡→竹林→山守トンネル→泰久寺駅跡）

■開催日 5月19日、6月16日、9月15日、10月20日、11月17日
※日曜開催

■参加費 1,000円／人 ■申込 開催日の3日前までに所定の申込書にて申込

■問合せ （一社）倉吉観光マيس協会 電話 0858-24-5371 ファクシミリ 0858-24-5015



7 初夏の風物詩 ホタル観賞

【福万来（ふくまき）ホタル乃国（日南町）】

見渡す限りの山肌を埋め尽くすヒメボタルと、川の上を幾重にも重なる糸のような輝きを放つゲンジボタルの大饗宴を同時かつ大規模に見られる全国的にも大変希少なホタルの鑑賞スポットです。

■見ごろ 例年6月下旬～7月上旬の20:00～21:00頃

■料金 500円（環境の保護協力金として活用します。）

※三脚を利用される方は別途料金が発生します。

■問合せ （一社）日南町観光協会 電話 0859-82-1715

URL <https://www.nichinan-trip.jp/natural/fukumaki-hotaru/>



写真：山崎 稔氏

※ホタルの生息環境を守るため、道の駅にちなん日野川の郷発着のシャトルバスをご利用ください。

【金田川（南部町）】

金田川一帯がホタルの名所で、米子市内から近く、駐車場も整備されているので、観賞人気のスポットです。日にち限定で、無料シャトルバスが運行されます（定員になり次第締め切り）。

＜金田川ほたるバス＞ 運行日：6/1（土）～6/9（日）、6/15（土）、6/16（日）※申込要

○米子駅（米子駅前だんだん広場）発着 20:00 出発、21:15 帰着

○皆生温泉発着（皆生温泉旅館組合宿泊者向け）20:00 出発、21:40 帰着

■問合せ 南部町観光協会 電話 0859-30-4822

平成 31 年 4 月 25 日発行

鳥取県内の最新イベントや観光情報をご案内しています。マスコミ、旅行会社の皆様をはじめ、多くの方にご活用いただけるよう定期的にお届けします。複製・転載可です（著作権表示が付いている記事等は除く）。また、写真はイメージです。ご不明な点はお問合せください。バックナンバーはホームページよりご覧ください。

〔編集・発行・問合せ〕公益社団法人鳥取県観光連盟 電話 0857-39-2111 ファクシミリ 0857-39-2100

E-mail kanren@tottori-guide.jp <インスタ好評公開中！「[insta_tottori](https://www.instagram.com/insta_tottori)」で検索！>

鳥取県観光情報（とっとり旅の生情報） URL <https://www.tottori-guide.jp/>